子を得ることができず、更には母位子に付むしな い子位子の点が低加して、この子位子に由来する 小粒子の塩在による製品品質の低下および粉体質 数性の型化などによる操作上の問題も生じること

次の範囲が7.点記数のマイクロカアセル化数位子の監査方法。 ・の製造方法。 (9) の位子が有数または監視物質の粒子であ	ることを特殊とする10年記載の発回第7項記載のマイクロがプセルに関係する国際方法。 (10) 平位子が2位以上の対域国際条件中の協議を以下の、そのうち少なくとも、日が数回回店	山原位子であることを特徴とするは呼ば次の利回	27. 互記数のマイクロカブセル化数粒子の数数ガギ	な。(11) 母位子が多孔性位子であり、これに設	不管置する江西不能到现象法不改成社会的 中一部 日本 の 1 7 7 4 4 2 7 7 7 7 8 8 8 9 9 6 0 0 0 0 0	7項記録のマイクロカブセル化物位子の製造方法。	(13) 予覧やでした、母質子製質や毒点する智能を手によるのではなべきをもたこのではなべきをもたこのがいたメ	などのなどとなるというなどのないできません。	第7度記載のマイクロカプセル化数数子の数弦が	後。 後に ) ははイントはは ( 1 )		位子故国の改姓万法としては、慈敬姓以子故国	<b>か味道路在低、クセンセッグコング低、キタンカ</b>	ップリング群などで処理して以子校園の政治技术	向上させ、粒子の始和への分散性を向上させる方	名、ボンスー哲子の政府に会成メシャル語した式	リマー位子に中に存んが与する方法などが回られ	いです。つかり、したかと投び、公子公司の交替を分析を与っている。	するにすなず、またホリマー粒子の血はメッキの	母会、メッキに使用でする公民はNI、Au、	Cu、Snなどに別先されるという欠点があった。	<b>ホにと、母近、死ロメカノケミカルな灰を近日</b>	して粒子数道を設置する。あるいは粒子を彷彿粒	としてマイクロカブセル化する方法が収集されて	いる(化学協臣,1988年3月号,p.27-33)。この方	治によれば、母女子に対し形式の位子役比を当す	る故意用の子数子を、母数子に砂筋気的に付めさ	た、 ボールミアあるいは回数化なで致く語合する	ことにより、母粒子に子数子を埋めこみ、固定化
昨 + ( ) P )	会 会 会 会 会 を を を を を を を を を を を を を を を	その製造方法		4月9日 )の特別 RBG1-255484	東京都中央区築地2丁目11番24号 日本合成ゴム株式会社 お	東京都中央区築地2丁目11番24号 日本合成ゴム株式会社	内 東京都中央区築地2丁目11番24号 日本合成ゴム株式会社	内 市京都中央区等地2丁目11億24号 日本台成57.4株式会社		東京都中央区築地2丁目11番24号	O. C.	か女女ドラマショニドゲニコリー・シャーコンなど アナル 会が アナル 会社 ごめの 国民 一氏 記録の レイクロ	カプセルにななり。	(5) 子拉子が2型以上の被取局形成材料の流	合位子で、そのうち少なくとも1組が独可的体型	后位子であることを存むとする物料が次の名目が	1 点記数のマイクロカプセルに数位子。	(6) 被政のなり的ないないないないのの政策(3)	日点であってんだいはつ。っかに言うられるド・ゴロなのシェックセンナルが大変な子・	(7) 数平均位子给51~200mmの存货子	之数平均位于经が母位于の数平均位于经の1/5	以下它都心被烈威仍成女妹の平粒子と赤灰数中心	英遊技なして、おも姓としての母母子の政府上に	彼四燈形成材料の彼四燈を形成することを物料と	するマイクロカプセル化な位子の監督方法。	(8) 母位子が1~100mmの数平均粒子径	Snと、Sn ± 20%の発因の位子資を有する数	子が会体の70瓜G%以上を占めるような位子管	分布を介する位子であることを信仰とする信仰器
◎日本国特群庁(JP) ◎公開特許公報(	(g)Int, Ci, 田 01 J 13/02 田 01 J 13/02 日 01 G 9/08 3 1 1 7255-2H	●発明の名称 マイクロカブセル化数粒子およびその製造方法		<ul><li>砂出 厨 昭62(1987)4月9日</li><li>医先権主張 砂昭61(1986)10月27日砂日本(JP)砂特別 昭61-255484</li></ul>	60条 明 考 服 部 雅 幸 東京都 内	O 第 明 者 请 水 递 也 東京都	DA 明 名 姓 井 · 田 東京都	(P) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B	1 1 1	GH 图 人 日本合成了 4株式会社 東京都会 B 1 在四十二十四 第二		京原石 ながらまる ・	ここにもつもなってものなりである。アイクロケブセルトのないが	****	2. 物料群块の粘固	(1) 数平均位子径が1~200μmの母位子	七数平均位子径が母位子の数平均位子径の1/5	以下である後位西形成は村の子位子とを気流中で	が最近なして命ったる。 心部 互かして のおうナスキュミ オギュー・ディー・ディー・ディー・オギ 関係 近れ ガウ 教	日本は、大は日子が、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	(2) 母位于511~100mmの数中均位子语	Snと、Sn±20%の共国の粒子塔を有する位	子が全体の70回回%以上を占めるような粒子毯	分布を育する位子であることを特殊とする特殊部	次の税団第1点記載のマイクロカブセルに登位子。	(3) 母位子が有数または無数物質の数位子で	あることを特徴とする特許記求の発目は1項記数	のマイクロカブセル化学位子。	(4) 母位子が皮体物位または固体物質成功来

作名数样及付金容器中で、設件及の周邊区が18 E/砂以上で行うことを存むとするながだがの名

国第7項記載のマイクロカブセル化数数子の製造

母位子と子位子との気気中での高速数 なん反びだけななな中で、中位子と子位子との会

(14)

100mとなるような弱度で行うことを特徴とす るや作品女の範囲な?点記数のマイクロカブセル

国国女教育及任命教育内的国会(《四次》10~

本倉町はマイクロカブセルに及位子およびもの 弘治方法、詳しくは故位子政而に、別えばその改 **虹を目的として、所図の住気をむする物質からな** 

2. 条则の详知な段明 1. 松位子の知道方法。

(産品上の利用分野)

る该数因を形成したマイクロカブセル化数粒子お よびその勧迫方法に囚する。このマイクロカブセ 卢化斯位子は益称、疏、鸭子材料、鸭子每点、虫 化学用位体、化妆品、医效品、品质、食品、效益 すことによって位子校四の改姓あるいは母位子を 芯物質としてマイクロカブセル化を図ろうとする

など広い分野で利用できるものである。

しかし、上記メカノケミカル効果を利用した姿 面改質あるいはマイクロカブセル化方法によれば 母位子と子位子との概合もボールミルあるいは日

(名匹が形状しょうとする四四点)

**60085.** 

ったり、位子周士で融合してしまい、子位子から なる故気的を均一に母位子表面に形成することは 田澄であった。また、故臣所は子位子の単一位子 西としてしか形成で含ず、母粒子政府を子位子が らなる故反応で呼く、かつな一に汝以することは できなかった。従って、故臣所の党長が続く、女 用上十分な弦弦を有するマイクロカブセル化弦粒

**動乳分を利用して行うなめ、母粒子が別れてしま** 

铸開昭63-240937 (2)

-209-

の日本名のようには「そのままの本の最高 の日本名のようには「そのままの本の最高 関本を成すると、対ったは「大きの中である」 は大きの目であるようなは「中のようなでする」 は、カンプセルでは自分のでする。 は、カンプセルでは自分のでする。 は、カンプセルでは自分のでする。 は、カンプセルでは自分のでする。 は、カンプセルでは自分のでする。 は、カンプセルでは自分のでする。 は、カンプセルでは自分のでする。 は、カンプセルでは自分のでする。 は、カンプセルでは自分のでする。 は、カンプセルでは自分のでする。 は、カンプセルでは自分のでする。 は、カンプセルでは自分のでする。 は、カンプセルでは自分のです。 は、カンプセルでは自分のでする。 は、カンプセルでは自分でのでする。 は、カンプセルでは自分でのでする。 は、カンプセルでは自分では自分では自分です。 は、カンプセルでは自分では自分でする。 は、カンプレーにはこれが「・1分では ログーでは「)では「)がましては は、カンプローにはこれが「・1分では ログーでは「)では「)では、カンプレーに は、カンプローにはこれが「)には、カンプレーに は、カンプローには、カンプレーに は、カンプローに			特開昭63-240937(4)
なられているのでは、 ないているのでは、別になっているのである。 ないたないである。 ない、大ののでは、はいのがでは、はいのでは、はいかのでは、ないとしている。 ないましては、ないでは、ないない。 ないましては、ないない。 ないましては、ないない。 ないましては、ないない。 ないましては、ないない。 ないましては、ないない。 ないましては、ないない。 ないましては、ないない。 ないましては、ないない。 ないましては、ないない。 ないない。 ないない。 ないない。 ないない。 ないない。 ないない。 ないない。 ないない。 ないない。 ないない。 ないない。 ないないないない。 ないないないないないないないないないないないない。 ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない		20%の程	
によるものような以上では、1000年間を対するというというというというというというというというというというというというというと		有有名词	、本角町における数平均位子设および位
以上を占めるようなは子宮からなするな。 本海の中辺を高度を同じませる。 は、		ましくは80点型%以上、叉に砕ましくは9	、電子顕数数写写工にで100個の位
は は は は は は は は は は は は は は は は は は は		ロ%以上を占めるような位子医分布を有する	子径を無作点に会えして求めた
4.0.1 では、1.0 に対しておいる 自治される 自治される 2.0 に対して 4.0 には 1.0 に 1		子を使用すると、均一な位子径を有するマイ	明で使用する彼似層形成材料の子位子
のおりでもにはないである。 1/10以下、さらに溶ましくは 1/2 での 2 に 2 の 2 に 3 に 3 に 3 に 3 に 3 に 3 に 3 に 3 に 3 に		カプセル化数位子が必要とされる用途に呼過	子の数平均位子径の1/5以下、好ましく
型の自位は中でしては上記がしょーは子の自由中央内容を有する。中に子の自由中央の日本の自由である。 「		イクロカブセル化吸塩子を得ることができる	さらに好ましくは1/
の は は は は が は が な が が か と か と か と か と か と か と か と か と か と	******	明の母粒子としては上記ボリマー粒子の	均位子经毛有少る。子位子の此中均位予路
<ul> <li>・ の</li></ul>		、數平均位子為が1~200μmの範囲にあ	の数甲均位子径の1/5を加えるとの位
なの選手をよることができる。 なる実体は子もにとができる。 なの資本などとは保護をはは国体を質数 なの資本ないでは、この多孔は位子 の場本の可能に合うが、この多孔は位子 の場本の可能に合うがスイクロカブセルに可子 のはまの可能に合うがスイクロカブセルに可子 のもる。なお、本面側における上記的質の ないる。なお、本面側における上記的質の ないる。なは、本面側における上記的質の ないる。なは、本面側における上記的質の ないる。なは、本面側における上記的質の ないる。なは、本面側における上記的質の ないる。なは、本面側に対するに関連などを促成する。 ないる。なは、本面側に対するに関連などを促成する。 ないる。なな、本面側の数子を促成することが ののある。 なのはなは、からの数なは関係をはない。 のの面をは、カートのインインロンが ののある。 なのはないによっては、ないないない。 のの面をは、カートのインイン によって ののある。 なのはないによっては、ないないない。 のの面をは、カートのイン は、カートのイン は、カートのイン に ののある。 はの可能なのではないては、かいないない。 かって、カートのイン は、カート ないの かいの かいの かいの かいの かいの かい に からのを、 は のの は、 は に が かい		、夏陵、女命、春草、汝草、昼草、鱼属	4 ーかし十分な反みを称った故臣四を形
ない。多式体因子に否体を質された国際を質されて国際を関するに国際を関するに、の多孔体因子に否体を質されて、この多孔体因子、自己の表現をは、この多孔体因子、自己のようによって、毎日十のマイクロカブセルにのもなる。 おけい は、本面のにおいる上記的質の吸引 は、カーカー		ども収用するする	13
を受賞されて、使用するに、「の多れ性位子」の図れなく、単位中のイイクロカブセルにの日本の公とは、上記的体験質をなれて、単位・上記の体験質をなれて、「は、これを関係を関するにとは自身・数大は、単位十つには では、大型を関係をいる。 なが、本面型における上記的質の吸える。 なが、本面型における上記的質の吸える。 なが、本面型における上記的質の吸える。 なが、本面型における上記的質の吸えて、 ないには、 ない、 本型をは、 ない、 とない、 また、 また、 また、 また、 また、 また、 また、 また、 また、 また		6、多孔性过于に液体物質または固体	で校用する子位子の傾向については特
日本でして校園すると、上記的体験質をなは、 にょって教験を買るるには西越的自分を登めまる。 なお、本面のにおくよりログイルをはむする にない 本面のには は は は な は な は 本面のに は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	-	來を吸収または吸着させた後、この	はなく、母位子のマイクロカブセル化の目
もなる。なお、本価のにおんなイクロカプセルに取す は国際アネにとがきる。 数えば、ものが、本価のにおける上記を質の表 からの は、本面のには は、は、 本面のには は、 は、 は は は は は は は は は は は は は は は は		母位子として使用すると、上記僚体物質	したななど灯めるこれ気色を紅のなかかっ
もれる。なお、本面のにおける上記的質の数 体を行るする。なお、本面のにおける上記的質の数 はを存むするになる。 カンの音、ニンケル、 印、アルミーウムなののもの、この数質を大口の数は投来公百の 単語なは、 ボリアセナレン、 ボリアロート、 びのある。 説にの数数を大しの数は投来公百の サエニレンなどの数は存ましょうに ない というといく ボーン がの はない ・ 中国子でに ボーン がの はない ・ 中国子でしては ・ は アー・・ エート は かり の は は かって は ・ カー に ・ ・ カー に ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		存物質を内容に会んだマイクロカブ	ことができる。例えば、母粒子に群
なは食事は、均平適面なもじに輩乳内部にお シケの物、ニッケル、印、アルミニウム、放発をはは食物には食物、もしくは行動などを提供することがら 新春はな、ボリアセナレン、ボリビート、いの食質がよび食物には実が200 年エニレンなどの移程はボリムーを投出することが、 イン・ファイ・ロ・スンジンソイエロート・バーとにはも、 100、スンジンノイエローの、スンジンソイエロート・バーとは、 100、スンジンノイエローの、スンジンソイエロート・バーとは、 100 では、 100 で、インジンノイエロー・バートは、 100 では、 100 で、インジンノイエロー・バートは、 100 では、 100 で、インジンノイエロー・、バートはは、 100 では、 100 で、インジンノイエロー・、バートは、 100 では、 100 で、 100 で、インジンソイエロー・、バートをのは、 100 で、 100 で、 100 で、インジンノイエロー・、バースをのなが、 100 で、 100 で、 100 で、インジンノイエロー・、バースをのなが、 100 で、 100		得られる。なお、本角明における	9ナる場合、子位テとしてはカーボンプ
の名名か、この意気なくに食物に投来が首の 新春なな、ボッケサーン、ボッとして、大きない、ボックサーン、ボッとして、大きない、ボックサーン、ボッとして、大きない、ボックサーン、ボッとロート、、田子は中部などによって実践することがも、100、ベンジンノ4xロート、ボッとがものでは、中で、中のデーンのとの発性技术・スーンがは、中の中で、中の中で、大きない、インシン・ス・スーンがありない。 この音の音を表現によるがよい。 この音の音を表現によるがよい。 この音を表現になる カーロ B、キャン・ファイン ス・ングン ス・ス・ングン ス・ス・ングン ス・ス・ングン ス・ス・ングン ス・ス・ングン ス・ス・ングン ス・ス・ングン ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・		または吸着は、粒子数菌ならびに細孔内部	クの笛、ニッケル、取、アルミニウム、飲な
のあるも、この最優および最級は投来公首の 新語なな、ボリアセチレン、ボリビロート、での大は金銀などによって実践することがら サエニレンなどの発起技术しる一を投出する。 説に母の子が自然を行り 一 10 G、 ベンジンノ4 x ロー G、 ベンジンノ4 x ロー G・ ベンジンソ4 x ロー G・ ベンジンソ4 x ロー G・ ベンジンソ4 x ロー C・ ベンジンソ4 x ロー C・ ベンジンソ4 x ロー C・ ベンジンソ4 x ロー C・ ベンジンソイ x ロー C・ ベーシのな な な は・ 本語 c の 2 は 2 に が a は 2 に が a は 2 に が a は 2 に が a は 3 に な a は 3 に な a は 3 に な a は 3 に な a は 3 に な a は 3 に な a は 3 に な a は 4 に a は a は a は a は a は a は a は a は a は a		る吸収または吸着、もしくは付着などを	協会风勢、ヨウ化却、数化ルテニウムなど
* 忠大氏会議などによって実践することが内 ある。説に母母子が発信在であってこれを数 10 C、ベンジンノ4xローC、ベンジンノ4xローC、ベンジンソ がはる自然になる人でな能信を行る。 によって自実成でを減くしては信任を行る。 には合うとしてはよい4ー24・作き。 はの自然の はの自然の ないなが、本価との記事とものなない。。 ののはずかの自己にのでもがは が、中間子のスインロンプセングの、イングンメアンソン・ズーンが か。なな、本価との記事をもだれな。 アング・イングンメアンソン・ズーング、イングン か。なな、本価との記事をもでしては、 か、中間子のカイクロガブセルでの目のがで、 アンドインソン アンジン・ズーング、ストングン アング・イングンメアンソン・ズーング、ストングン アンドイングン スーング スーング アンドイングン スーング スーング スーング スーング スーング スーング スーング ス		ものであり、この吸収および吸吸はは来公	女な、ボンアセチレン、ボリアロール、ボ
46. 説に母的子が母指在であってこれを数 10G、ベンジジン4xローG、ベンジン7xxローG、ベンジン2xxローG、ベンジン2xxローG、ベンジン2xxローLー+、バートには中では 10G、ベンジン2xxローLー+、バートには 10g		法、例えば合併などによって実施することが	エニレンなどの芽草性ボリマーを使用するこ
はいる。説に母母子が発信性をあってこれを協っている。がに母母子が発信性をあってこれを強になる。 サンコンメドローレーキ・スールは は は は は は は は は は は は は は は は は は は			
はなる。 はない ここの はい オンリンイエローレーキ・パーネになる。 かいずんしてはだいな 一切中、 野 は オースロート のの またい。 に		できる。逆に母位子が母気性であってこれを	6. ベンジジンイェロー6. ベンジジンイ
にはむ、子母子としてはボリマーは牛、野食 トイェローNCG、タートラグンレーキは毎回的在世間の子を使用するのまた。こ 第四点的、モリブデンオレンジ・パーマリのなからも四のたのこれが、トリング・インダンメレンジ・パーマリのなからも四のにのこれが同様におい、アンジ・インダンメレンジ・パーマーマロなら子院の自っなものを使用するのがな。 スペンジンメナレンのC、インダスレンプ・バイン・マロなは子院の当一なものを使用するのがな スペンジンメナレンのC、イングスレンプ・バーマーマロンでは、毎日子のロガブセルにの目的が四 窓内質なのなったとがはないと、カア・カードの自身・独自田子は子として次のような カドミウム・バーマンア・カア・カインファン・マケインファン・マケチング・カア・フェング・フェング・フィーナンファン カケンウムは、レーキンファン・ファインファン カケンウェング・フィーナンファー・コーン 自動は 自然 ロー・オープルメイオロー・コング・イエロー は色質に 日・オープルンパイオアン・ローグ・ファインファン イオアンアーキ・コーグ・ファング・イオアンアーキ・コーグ・ファンガーオエローに、ハングーイエロー スイオレットファン スイオレットロ・メイナアシャロ・メイオアシャロ・メイオアシャロ・メイオアシャロ・メイオアシャロ・メイス・ファン・ファン・スイオアシャロ・メイス・ファー・オーブルグスイオロー・ファンガーは とい スイオアン・ファー・スイオアントロー・スイオアンアロー・スイオアン・ロー・スイオアン・ファー・スイオアン・ファー・スイオアシャロー・スイオアン・アート		设置によって信仰点点	、サノリンイエローレーキ、バーマネ
は他の国籍は最近な子を使用するのかよい。こ は他の国籍はいたしては、上記とニルボボリ りなかから自らにひて他自然をするになか も。なお、本他の自分には、レンジ・インゲンオレンジ・パースキ も。なお、本他の自分には、レンジ・インゲンスレンプリリア・オーン するなが、本他の自分には、レンジ・インゲンスレンプリーフン・オーン するなが、本他の自分には、アンジ・インゲンスレンプリフン・オーン カ・なが、本他の中にの一なものを使用するのがな ス・ス・ンジンメナレングの、インゲスレン カントオレングのス フントオレングのス フントオレングのス フントオレングのス フントオレングのス フントオレングのス フン・オングンオーングの、インゲスレン フン・オングンスレング・カアンフ フン・オングロンフ・インゲスレン カケングロンフ・オーン・スケーン ないかっ カケンク・カア・カー カケンク カア・カー アーシア の はない はない はない はない はない はない はない はない		たい場合、子位子としてはボリマー位子	1x0-NCG. 9-19026-
の似かでも四位に行っては、上記とニル系ボリ かつ 質的 (2) ペークチンオレンジ・パーオキのなかでも四位に行うて (2) グライン (2) ペング・インゲンスレンジ・パータ・キ・など、本他の内部 (2) を (2) ペング・インゲンスレング・インゲンファオレンジ・パーター (2) は (3) で (3) で (3) で (4)		しくは悠可塑性豊脂粒子を使用するのかよい。こ	花色紅衫
も国のならででものは対象であることが ・本価の自己の日子を与指子としては、 ・大人がシストングリリアントオレン ・大会の当一なものを投出するのがな アントオレングのス アントオレングのス アントオレングのス アントオレングのス か、他の田子なみたして次のような かい他の田子な子として次のような かいがの田子なっか、カドミウムレッド、紹介、保住 あにたができる。 カアミウム、バースンナントレッドなの カアミウム、バースンナントレッドなの、 カアドロンアック、カア・カア・カア フレッド、パランロンレッド、公子、紹介、保住 カアング・フセチレンブラック、ラン カアング・スクオタイト ロ・アングランク、インケンド・カードの ロ・アング・スクオタイト ロ・アング・スクオタイト ロ・アングロンレーキ、ローグミンケ ロ・アング・スクオクトート ロ・アングロンレート、ローグミンケ ロ・アング・スクオイエロー、自然を信仰 はの数件 カンメーイエロー、「自然を作用 はの数件 カンメーイエロー、「ロッケチチンン はの数件 カンメーイエロー、「ロッケチチン」 はの数件 カンメーイエロー、「ロッケチチン」 はの数件 カンメーイエロー、「ロッケチチン」 はの数件 カンメーイエロー、「ロッケチチン」 はの数件 カンメーイエロー、「ロッケチチン」 はの数件 カンメーイエロー、「カンケーエ」 インガンソイ・スイオアットロート		可塑性樹脂粒子としては、上記	、モリブデンオレンジ、パーマキン
・本部の日の日本の子位十としては、 レンジ・インゲンスレンブリリアントオレン 中級のちーなものを仮用するのが存		-のながから自むに応じて凶女が吹する	TR、 アサンロンオレング、 バルガン
4項の均一なものを使用するのが存 X、X 2 2 2 2 x 1 2 2 C 3 4 2 x 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		きる。なお、本角明で使用する子位子とし	シ、インゲンスレンブリリアントオレンジ
テントオレンジのK 中のマイクロカブセルにの目的が位 常の質は も、独の用子は子として次のような ペンガラ・カドミウムレッド・紹介・保に るにとができる。 ウァン・フセチレンブラック・ラン カルンウムは、レーキレッド・ウェチングフ ワーリンブラック・マグキタイト ロ・アングロンレード・ウェチングフ フーリンブラック・マグキタイト ロ・アングロンレーキ・ローグミンフ ロ・アンメーイエロー・ロの数化 B コンストイエロー・ロッケチタン 辞色質な コングレンド・ファイン・ファイン フレストイエロー・ロッケチタン は色質な B		位子同僚位子塔の均一なものを使用するのが	、ペンジジンオレンジの、インゲスレンブリ
中のネイクロカブセルにの目のが位 も、独の用子は子として次のような なくども、カドミウムレッド、紹介、保住 さにたができる。 カアッケ・スーペンナントラッドのア・リ カレッド・パランロンレッド・ウォチングフ カレッケ・アキテンプラック・ラン カイングラック・マグキタイト ロ・アリンプラック・マグキタイト ロ・アリンプラック・マグキタイト ロ・アリンプラック・マグキタイト ロ・アリテリンアーキ・ローグミンア ロ・アリテリンアーキ・ローグミンア ロ・アリテリンアーキ・ローグミンア ロ・アリテリンアーキ・カーローグミンア ロ・アリテリンアーキ・カーローグミンア カンメーイエロー・ロを数件 アリテリンは、コンメーバイオアットロ・メ サーイエローの、ハンゲーイエロー バイオレットロー メ		دَ	オレンジの
も、他の田子は子として次のような ペンガラ・カドミウムレッド・紹子・保にもにとができる。 カドミウム・パーペンセントレッド イン・ド・ジャイム R・ リルック・フセチレングラック・ウン カケンウム はっしょ カイングアック・マグキタイト ロー・カイング カケンウム は エメシントーキ・ローグミング ロンストイエロー・ 見色優化 B・アングリンド・ファイオロー・ は色優化 B・アングリンド・ファイオロー・ は色優化 B・アング・スカイメロー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		、母位子のマイクロカブセル化の目	500 位 100 位
かにとができる。 カフッド、ガランロンアッド、ウェチングロンフッド、ウェチングフゥック、フセチレンブラック、ラン カルクウム語、レーキワッドの、プリロアンアにリンプラック、マグキタイト ロ・ドングロン エオクンフーキ、ローグミンフロ・ンド・ウイエロー、間を配信 B 20 ファルリンアーキ・ブリリアントカーミロンストイエロー、ゴッケルチッツ 辞色課件 コープルスイエロー、コッケルチッツ 特色課件 カンガンは、コンストイイオフットロ・メザーイエローの、ハンゲーイエロー バイオレットレーキ		の巻色の場合、着色用子粒子として次のよう	ンガラ、カドミウムレッド、48月、
の成立 カーボンブラック、アセチレンブのック、のソ ガケンウム谷、フーキアッド、ウェキングンプラック、アロリンブラック、ムグキタムト 1・2ン6日、オギンソフーキ、ローグルンフの設立 日本・国地方、カドミウムイドロー、内の政治 2002 1・4ープルスナイドロー・1・ファイチック 特の資本 ドルキッケンファイボコー・1・ファイチック はの資本 ドルチンアンボイルコー・1・ファイ・1・アンゲード 1・アング・ファイ・ファン・ファード 1・アン・ファー・1・アン・ファー・1・アング・ファー・1・アング・ファー・1・アング・ファー・1・アンゲード 1・アンガンは、ファストバイギフットロ・メーS、ハンゲームドローの、ハンゲームドローの、ハンゲームドローの、ハンゲームドローの、ハンゲームドローの、ハンゲームドローの、ハンゲームドローの、ハンゲームドローの、ハンゲームドローの、ハンゲームドローの、ハンゲームドローの、ハンゲームドローの・ハンゲームドローの・ハンゲームドローの・ハンゲームドローの・ハンゲームドローの・ハンゲームドローの・1・アング・1・アンヴェール・1・アング・1	-	ることがたき	204. K-7242110148. UJ
カーボンブラック、アキテレンブラック、ラン プラック、アーリンプラック、スグキタイナ ー 1 2 7 6日、エオシンワーキ、ローグ 1 2 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7		日の氏は	ッド、ビラゾロンレッド、ウォチングレ
グラック、アリリンプラック、スグネタイト しょいら日、オオシンワーキ、ローグミンアリー おく ファック・ファック・ファット ファック・ファット ファック・ファット カースン はない 国名氏 B はませんコンス・イドロー・パッケチッツ 辞句課件 キープルストイドロー・・ナンド・チャッツ は色質な コング・ス・プレー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		ーボンブラック、アセチレンブラック、ラ	ンウム粒、レーキレッドロ、ブリリアント
の原体 質な、質な質、 かドミウムイェロー、 気句を行 B 、 はキャグリンス・イボロー、 パッケケチッソ 辞句 原体 ボロー、 キープケスイボロー、 イッケケチッソ 辞句 原体 ボロー、 キープケスイボロー、 ナンヤーゲムド トンガンは、 ファストバムギフット B・メデ		ブラック、アニリンブラック、マグネタイ	ン6日、エオシンレーキ、ローダミンレー
<b>似な、固な気、カドミウムイドロー、灯の敷作 B はのばな、 3 キャクノンストイドロー、パッケルチタン 谷の紅なドローストイドロー、 1 ッケルチタン はのばなに 1 ・キープルスイドロー、 ナフトーチイド トンガンは、ファストバイドレットB、 メデーS・パンダーイドローの、 パンダーイドロー バイオフットフーキ</b>		8)	、アリザリンレーキ、プリリアントカーミン
、ユキツルコアストイドロー、ニッケルチツン 谷色紅井 ドロー、オープルスイドロー、ナフトールイド トンガンは、コンストバイギレットB、メチェラ・ハンザーイドローの、ハンゲーイドロー バイオレットレーキ		ね、風谷貫、カドミウムイエロー、灯色	m
メロー、キープルスイドロー、ナントールイド マンガンは、ファストパイメレット日、メデーS、ハンザーイドローの、ハンザーイドロー パイオレットレーキ		、ユネラルファストイエロー、ニッケルチタ	禁含磁料
-S. ハンザーイェローG. ハンゲーイェロー バイオレットレー		<b>ェロー、キープルスイェロー、ナフトールイ</b>	ファストバイオレットB、メチ
		-S. ハンザーイェローG、ハンザーイェロ	イオレットレー

リルアクリレート、アリルメタクリレートなどの共立合可能なモノマーとの共立合体も使用するこ

ヒドロキンエチルアクリレート、2-ヒドロキソエチルメタクリレート、ジアリルフタレート、ア

レン、シアニチベンボンなどの分類数とこかは現代によるな、プロパメン語とことなどのとこかに対するに、アクリロパインのなどの下記のになったがの下込むに、マケノクリフート、エチケアクリアートは、メチケアクリアート

スチレン、ローメチルスチレン、ハロゲン化スチ

とするマイクロカブセル化数粒子の製造方法に図

に彼西西形成は村の被国団を形成することを特徴

の子位子とを気信中で高速敷砕して母位子数面上

~200mmの母位子と数平均位子程が母位子の 数平均位子径の1/5以下である被互用形成材料

本籍明の第二の発明は、数平均位子協Snが1

プセル化物粒子に関する。

がかもる。特に、ピニルボボリマーが終せしく、その知道に収用するピニルボモノマーとしては、

マー位子は、耐えば上記のピニル系もノマーの穏度の出る、あるいはポリマーバルクの砂砂によって

本名明の特定範囲の数平均位子径を有するポリ

ト、エチルメタクリレート、プチルアクリレート

ブチルメタクリレート、2 ーエチルヘキシルアクリレート、2 ーエチルヘキシルメタクリレート、2 ーエチルヘキシルメタクリレート・

19に均一な位子位を有するマイクロカブセル化数位子が必要な場合には、均一な位子位を有するおはなすよる

存品に行ることもできる。

ラウリルアクリレート、 ラウリルメタクリレート、

リコールジメタクリレートなどのエチレンは予路でカルボン階アルキルエステルなどを別分するにヒサでもる。このとこを果ポリマーは印色国色体であっても、あるいは上記とによが先イマーからは高度なる発出を伴るもってもよい。また、上記とに予済モノマーとブ

エチレングリコールジアクリレート、エチレング

フャーナル オブボリマーサイエンス ボリマーレター エザインヨン (j. Polys. Sci., Polys. ser Letter Ed.) 記憶の国金が出、あるいは本館の歌やお光には親した国金が法(韓国語 8 1 - 2 1 5 8 0 3、国 6 1 - 2 1 5 8 0 3、国 6 1 - 2

公司57-24369号公佰記載の協調司合法、

特開昭63-240937 (3)

本倉町で使用する母位子の数平均位子扱Snは、

本独のなった、上記回辺を解決するため処立的はを行ったお訳、中位子と子位子とを質賞中への図の存することによって登録に目的を認成できる

以下、木约明名群雄氏说明する。

町突ェネルギーが不十分で適位四の形成が田倉に

なる上、粒子向上の最終が高り、粒子を握るに致なれて、 ななれて、その数値に数回面を形成することが固 値になる。一方、数平均粒子段25岁300mm

~2001mのの位分と数平均位子投が応収すの対す場がにはすの行うの1~5以下である独国形成は対の十位十分と対域中で活動区界していった。 おちばとしてのほどとは毎位子は個上に原成された数国国形成は対の独国のとからなるマイクログ

木倉町の第一の角町は、駐平均位子位Snが1

ことも知り、この知見に移づいて木伯馬を松成す

を加えると、政位子としての特性が失われてしま

なほするものであれば女性を対えび野盗ななのインチなもの用も続きるり、森林県場としてのイイクロンプセルに枝は子の疫苗自のなどによって超越路できた。女性も変し、女性をしてない。女性を反っては、男人はも成型店(ボリュー)を移びることでは、男人はも成型店(ボリュー)を移びること

本倉明で使用する母位子としては、上記条件を

4元好ましくは2~50ヶmである。 駐平負担子 国2 n が 1 n m 米路では、位子の高温数符による

| ~200μm、好ましくは | ~100μm、お

15604)によって容弱に製造することができる。男犬は、数平均位子後5ヵ岁1~100ヵm、

のひりみてはド、グリンジなイクリレート、グリンジをメカウリレート、N-メチローをソウリカケンコアフォド、N-メチローをメカウンのアスド、S-

アクリル類、メタクリル類、アクリルアミド、メ

タジエン、イソブレンなどの共役ジオレフィン、

資中での処理によって母粒子属士の数合を粉より、

アチゼチンの高速設体を気気中で行うが、この気

本角明の方法においては上記のとおり、母位子

に形成され、マイクロカブセル化が減成される。

供用した母粒子の個々の数詞にねーな被取服を形

成することができる。なお、従来方法のようにポ - ルミルあるいは自動乳体を収用すると粒子の酸

また、同一招または異なる種類の子粒子を用い

くすることができるので好ましい。

にマイクロカプセルにを位数回突 拾し、抗敗の故 質別を投けた多形体遺迹質別からなるマイクロか プセル代数粒子を製造することもできる。この母 8、子位子の役別を定えると尽贷が先で付替しや

あるいは子位子が見むされて故口周が母位子故西

ルギーによって 母粒子 表面 あるい は子位子 が存取

国に馬形むな治験エネルギーが名引し、このスキ

子と投件図または容容は面とが衝突して、粒子数

りに対して、科経の子粒子を使用すると上記のよ うな子粒子国士の群亀気的反抗が転換されるため と考えられる。また、子位子として、母位子の教 西を森成する物質または超級と異なる物質または 組成からなる位子を使用すると、母位子と子位子 との同の序数帯電によって、子粒子の母粒子への はむか容易となり、一回のカブセル化処型によっ て瓜い彼瓜因が形成です。また野留子位子を少な

い彼原因を形成させるためには、2種以上の熱可

包住協盟からなる混合位子を使用するのが好まし

ラブルーなどの各種臭料を使用することができる。

**し、ローズベンガル、キノコンイHロー、ウガト** 

また、母粒子に軽性を付与することを目的とす る場合、子粒子としてはコバルト、鉄、ニッケル

その少なくとも1日が独刊団在弘昭位子であるこ

以指の混合粒子も使用可能であり、この場合も、

原始 は、 他化チタン、 アンチモン白、 硫化亜鉛

パタイトロ、投稿パリウム、クロー、シリガ、 ホワイトカーボン、タルク、アルミナボワイト

拉瓦瓦比

**ーンB、マラガイトグリーンレーキ、ファイナル** 

イエローグリーン 自仓贷件

クロムグリーン、数化クロム、ピグメントグリ

なお、子位子が、例えば熱可塑性樹脂粒子のみ からなる場合、一回のカプセル化処理によって厚

母女子の特に住を妨けすることを目的とする場 合、子位子としては、ニグロシン、メチレンブル

とが好ましい。

の旨、最代款、名益フェライトを収厄することが

パタイト、ジルコニアなどの各種数値打算を被囚

**厨形成川の子粒子として校頂することもできる。** 

まな、目むに応じて、纹木を紋、ヒドロキシア

11台、コバルトブルー、アルカリブルーレーキ、

一部分均数化物、ファーストスカイブルー、イン

ゲンスレンブルーBC

☆ほフタロシアニンブルー、フタロシアニンブル

上記の被囚府形成用の子粒子は、中数程だけに 保られず、二醇以上も過る合わせて敷川すること ができる。特に、無数物質のように協致しにくい ものを反用する場合、この無数物質な子と終可型 住場節粒子とを混合して使用すると被位層の形成 が良好となって好ましい。また、2役以上の合成 い。これは、母位子表面での周一段の子位子周士 の砂塩気的反抗によって厚い被型唇が得られない

<del></del>		特開昭63-240937 (6)
	本別明の方法において、上記の位子と子位子と	ると、子位子両士の数合位子が生成しやすくなり、
•	を数件以合き的語句に多点には入して結選数はす	好ましくない。
	ると粒子両士あるいは粒子と散炸奴または移容む	木釣町のマイクロカブセル化路位子の主たる川
	国かの治父が必数以上に続いって形図の技質的を	込の一つは、電子写真に似川するトナーである。
	形成できなかったり、あるでは高温数はが田路に	このトナーの製造に戻しては、数平均粒子級Sn
	なるので母位子と子位子との企可点が投算項付き	が1~30μm、好ましくは1~15μmで、S
	毎路内部氏の1~当たり10~100g、好まし	n ± 2 0 %の花回の位子迄を作する位子が会体の
	くは20~70mとなるような数仮で仮用するの	70田田名以上、舒ましくは80田田名以上、さ
	がよい。母校子と子位子との全国位が容器内容の	らに好ましくは90単位%以上を占めるような位
	の112当なり108米得では、粒子国士の治炎の	中国分台なたする、道行アニケ路ボンレーから語
	夏氏がかさく、彼氏因形成に必要な形別エネルギ	ばれたポリマー位子を母位子として世用し、子位
	一が得られない。一方、100gを超えると母位	子としては先に列なしたむ色用点はから過ばれた
	子両士の題合が生じ、均一な位子塔のマイクロカ	省色用概料位子と独可塑性型原位子とを、名色用
	プセル化数粒子が得られず、また路面内型への付	机特拉子   四点路多久 9 热可塑性设态位子を 0 .
	数が生じて好ましくない。	1~100日食器、歩ましくは0.3~10日日
	母位子と子位子との使用的合については、母位	邸の別合で経合した混合物を使用するのがよい。
	子100里面部当たり子也子を1~100里口昂、	このように名色用質料粒子と熱可塑性母質粒子と
	がましくは5~50日点部の割合で使用するのが	を混合して子位子として使用すると、上送のよう
	よい。子位子の校用点が1月点部大浴では被収函	に移色用質料位子を含有した改竄所を弱々の母位
	の形成が不十分であり、一方100円豆醇を超え	子教団上にねーに形成することができる。また、
	が取れなり、このようにつて等もたれ数四郎形成	因めて位于後の前った位子であった。
	粒子を母粒子として使用し、この粒子数回上に更	この位子を水洗、乾燥して抑られた位子808
	に色のボリマー粒子からなる液質的を形成するこ	を母位子とし、これに数平均位子径が約0.02
	とかわせる。なお、予粒子の一部として、ニグロ	μmの「カーボンブラック#40」(三段化成
	ンン、会クロス奴隷などの所証政院国際あるい	(株) 以) 10gと数平均位子径が0.15μm
	はボリスチレンワックス、ボリブロビレンワック	のボリメデルメタクレレート(ローMMA) 恐体
	スなどのフックス切のなな子を配合使用してトナ	(商品名MP-1451、禁惡化學(భ)以) 1
	一の存信を貸替することもできる。	0gを被奴屈形成川の子位子として紹合し、この
	(好话应)	概合物を内容衍々とのハイブリダイザーNHSー
	以下、实验例を挙げて本籍明をさらに詳細に認	1 型(校良管理な作所(体)数)を供信して、質
	町するが、本独町はこれらによって胡敬されるも	語にた牡本(数字以)の四級数78m/なち8分
	סבהמוי.	国処益したところ、母位下の牧団にガーボンプサ
	1 多姓女	ックとゥーMMAとのは一な被抗阻が形成されが
	16公园57-24389开公园记载の方法によ	ブセル化されていた(なお、為理役のハイブリダ
	って、モノヤー当点がスチワン/グロニケスソボ	イゲー内部の過収は2580℃であった)。
	ソヨトロノ308軒数ボンスチワン位中の投資フ	得られなマイクロカブセル化放位子をスライド
	た。この粒子は、数平均粒子鑑が9.3μm、7.	グラスにはさんでこすってみたが故口圏の以俗は
	5~11.1μmの福田の位子路を有する位子が	なく、成数が十分であることがわかった。また、
	会体の98皿瓜%を占めるような似子径分布(位	このマイクロカプセル化粒子は、数平均粒子径が
	子语の塔尔森兹が野平均位子语の4%)を竹ずる。	10.0μmの均一な粒子であり、純乳筋質が7

に十分なエネルギーを得ることができない。なお、

数件図の回過数の上版については、特に動版はな

いが、奴用する茲母、エネルギーな母などの点か

けなのな器内で気点中で及び及によって配道数が する。この高速投作によって位子同士あるいは位

点合し、次いでこれら母位子と子位子とを位件又

本島明の方法によって母粒子の疫苗に子粒子の 数国内を形成するには、先ず母位子と子位子とを

すくなり、複数形の形成が毎段になる。

ら自ずと決定される。

ましくは40~150m/砂である。放作以の屋 誠氏が15m/なより供いと、彼氏因を形成する

木角母の方法における数件数の間道数は15m

合の収合が大さくなって好ましくない。

/ 砂以上、 芽まつくは30m/ 砂以上、 からに む

-214-

60gを欠川した以外は実法的2と再なにして母

4下(数码公区PT500户巴工群(特)数)

拉子我酒にマグネタイトとp-MMAとからなる

実活的2でカーボンブラック108を世爪する

代わりに位于径が0.3~0.5ょmのマグネタ

被政府の形成された、数平均位予議7.6μmの

(リコー (は) 数) で放写テストを行ったところ、

このトナーを用い、故母数「FT-4045」

松野も良好であった。3万枚ロングランテスト後

も良好な国際が得られた.

カプリがなく、10米/EEの配数点が行られ、

位大写真(Garatix7500)をお1回に示すが、この広大写真からマイクロカブセル化発位子の様

近は内部から外部に向かっては以子( ケーボンブゥック・ボリマー)数四郎/ボリマー教員部と

待られたマイクロカプセル化数位子の均原節の

マイクロカブセル化磁粒子を超過した。

	特爾昭 63-240937 (B)
少れた。このトナーを用いて首邸& 「P C − 1	12. 实验的6
(キャノン(株)数)で評価したところ、カプリ	7.1 母粒子の使用斑を1868から100gに双双
かなく、10本/FEO所放政が得られ、啓認も	し、また子粒子としてポリ
気がむるった。	大ちゃに回じボンスナフン8年10mと野中なほ
比较好 1	子協の、15ヵmのスチレン-メタクリル数共日
実路例 1 においてハイブリダイザーを収用す	.冬 会体(耳耳比95:5)10gとの信合位子を迎
代わりに、ボーケミルを役用して6時間的過ぎる	・4 回した以外は気傷のと回答にしたマイクロカブ
以外は政策的一と四い数件を行った。	<b>七万代数位子后部九。</b>
待られた位子を迎査型電子関係値で直接した。	と このマイクロカプセル化筒位子の数平均位子塔
ころ、独位西は形成されていたが、母位子は別れ	れ Snは8・1 #Eであり、Sn # 20%のも国の
ていて、球状粒子は扱うれなかった。	位子位を有する位子は全体の95日四名を占めた。
9 海路城	女的、子位子に山来する位子径が1ヵm以下の位
カーボンブラックの代わりに数平均粒子径が約	均 子、即为残留粒子の点は会体の0.1用以%む多
0.35μmのニッケル数(Ni Fine Pouder (20	20 22.
30)、三井金属縣間(株)院)308を提用した	た このマイクロカプセル代数以子の数面は上記の
はかは、実施殴」と同様にしてマイクロカプセル	ル 独甲四位公司で独員されているために又反びは5
化数位子を得た。	x 1 0 ** 0・c m と述く、存在資訊-3 8 m C /
このマイクロカプセル化数粒子は、数平均粒	4 scans.
路が10.0μmの均一な位子であり、現気ほび	. ば このマイクロカブセル化数位子をトナーとして
40.150.cm7822.	用い、実施費3と回位に放写テストを行ったとこ
お、セレンダなく、この本/EEの結婚的があ	か、数項を3
、特別も毎年であった。3	、ス 母位子としての数平均位子径が70μmの秩功
4. 电子力阻容太信心力力。	(日本鉄切(株) 虹尼FV) 400gと、子拉子
	としたの数平均粒子為0.3μmの技能別1で決
が はい かい	
このはままれた。こののは、日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	
. 6	
1. A.S. RED330)15×化路中迈拉子路0	
8	
大郎 なりの アウ森 やなり かんぱん ひかかん かいかん かんな あり	てこと、気な女子数点が大リレーでなーに
批判、社友だい「国家国内の中华/ヨロトは原国	お れたマイクロカプセル化位子が得られた。
7	とこのマイクロカプセル化位子を電子写真の二成
ĸ	- 分系のキャッヤーとして収厄しなどころむ合の収
得られた。	5. 贝俊斯が得られた。
この赤色トナーの数平均位子径は7.8μm	, 城市交9
信女的女は1×1010cm、毎年登418	=
C/87857.	ロシメータによりボアサイズの、0ちょm以下の
この祭色トナーを用いて攻殻図3と同様にして	空礼符供からな出した空孔串)50%の歩孔灯
故写テストを行ったところ、カブリは全くなく、	カパゲスソカソロチパントロチャーグ(竹糸花
8本/mmの野袋買り寄色回復が得られた。	<b>上語(な)数)をしみこませとものを母位子とし</b>

子塔を打する位子が全体の92項点%を占めていた。なお、p-MMA位子に由来する小位子、即

/フチルフクリレートでガラス転移程度が50℃、

女祭房1と母祭にしてモノマー当成がスチレン

∄ቸΩMn=1. 6ሽ. Mw=4. 6ሽወポリマ

-位子を製造した。この位子は数平均位子径が7

ち残留粒子の点は全体の0、5mm%以下であっ

**代及位子のうち、6、1~8、1μmの代目の位** 

独質的が形成されていた。このマイクロカプセル

特間昭63-240937(7)

佰にて3分回を置したところ、申位子の校回にカーボンプラックとゥーMMAとが出一に成成した

x 1010・c Hと尽いので、非私なスペーサーと

して仮用することができた。

μmの「カーボンブラックMA600」(三陸化

を母粒子とし、これに数平均粒子猛約0.02

筑(体)型)10gと数平均位子道0・15μm のボリメチルメタクリレート(p-MMA) 砂体

クロカプセル化磁位子(カーボン磁弧四形成式リマー位子)を母位子として、この母位子16日8

女は別2で得られた均一な位子伝を有するマイ

分布(位于近の長の原の原数が平均位子径の5%)を

この位子を水路、乾燥して即られた粒子80m

有する、国的て位子屋の崩った位子であった。

る粒子が全体の95mm%を占めるような粒子毯

4月、5、6~8、4月月の花園の位子院を有す

独物型 3

代位子が得られた。このマイクロカブセル化数位

この汽台技をハイブリダイゲーNHSーニ型を吹用して、社会(数字段)の成法院84m/なら位

108とを彼而暦形成用の子位子として紹合し、

(应因名MP-1451、每原化学(核)区)

子の数平均粒子径Snは8.1μmであり、Sn

リスチレン波四層で波回されたマイクロカブセル

なお、第1図におけるマイクロカブセル化数位子は、切断時にかかる力によって若干属平になって

いるが、切断的は耳及に近いものであった。

る粒子猛が0.2~0.5μmの小粒子、即ち類

±20%の範囲の位子医を有する位子は全体の92回回%であった。なお、pーST位子に由来す

印られた位子投回はポリスチレンで被囚されて

日位子の丘は全体の3里母名であった。

いるため紅虹紅斑灯が2×10100・cmとなく、

沙馬ロゲーションC/sreeを自沙町在トナーゲ

ほうれた.

ı

からなっていて、母位子もお物質として、これに

二面森山波四面が形成かれていることがかかる。

	特開昭63-240937(9)
40	いた。なお、仮用子位子に由来するの、5 μm5
رد د	下の小粒子の値は全体の3、5重点名であった。
7∓8	母位子のマイクロカブセル化は十分に行われて
1 4	いたが、子位子と母位子とが四一種であるため別
記事	日子は子の日がやや多くなった。

1 と国際の韓四を正いた出政の国当政80m/砂 0. 15μmの独称的1で使用したのと同じ 数平均粒子缀0、15μmの玫瑰例1で供用 のと同じポリスチレン恐体208と数甲均位 MMA炒件20gの配合粒子とを設合し、女| て用いた。この母位子1108と子位子とし

子位子としてポリスチレン位体188および攻

で10分間処理を行いマイクロカプセル化設位子

女徒四11

気を2と校正したと回じゥーMMA粒は20sを

**后いた以外は実技器のと国際にしたマイクロカブ** 

このマイクロカブセル化数粒子の数平均粒子径

七九化改位子を衍た。

名を有する粒子は全治の93型型光であった。な お、子位子に由来する1ヵm以下の小位子の位は

2 n は 8 . 4 μ m で . S n ± 2 0 %の範囲の位子

ス骸移温度50℃)共血合体で位子径が0.13 μmである岗位子10gを用いた以外は皮は例2 このマイクロカプセル化物位子の物位層は十分 な独成を有し、位数性の労者所として2ヶ月以上 このマイクロカプセル化数位子の数平均位子符 子位子としてァーMMA位子の代わりに印位子 と四一柱のスチレン/フチルアクリレート(ガラ と同様にしてマイクロカブセル化数位子を得た。 仮用することができた。 灾徒的10

位子塔先有する粒子が全体の87瓜位%を占めて Snは7. 2μmであり、Snt20%の配因の

混合位子を使用して子位子を厚く被覆しても、野

な小粒子の目が少ないことが分かった。

本角町の方法によれば、従来方法のように母位

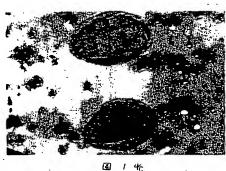
子位子として2倍四の彼四四形成材料からなる

会体の0.5四四%であった。

払一に、かり厚く彼四四を形成することができる。 子を釣ったり、秘容させることなく、その政府に

材料、配子写真、生化学用图体、化粧品、医效品、 かできる。特に、電子写真の分野では、解像度が このマイクロカプセル代数粒子は飲料、類、粒子 始後、意義、女品などの広い分野に使用すること **高く、良好な固役が得られるトナーとして有効に** 科川することができる。

をなするマイクロカプセル代数粒子の心理団の対 行1回は、気塔型3か符られた労用等近被目的 4. 因因の四日な段明 大写真である。 特許出版人 日本合成プム移式会社 代理人 弁理士 中 居 섭 三



4 4

-217-